



All Rikkyo Tennis

セントポールテニスクラブ会報

発行所
セントポールテニスクラブ

発行人 白 寄 誠 爾
阿 部 徹
北 沢 佳 奈

惜敗!! 男女共 昇格ならず!

—— 男子4部優勝、女子3部2位 ——



「男女共に残留」

平成20年度の関東大学テニスリーグの結果は残念ながら男女共に残留という結果に終わりました。男子は4部リーグ1位と健闘し、3部6位の順天堂大学と入替戦を戦いました。ダブルス1-2、シングルス3-3の4-5で惜敗。女子も3部リーグを2位と好成績で通過し、2部5位の東海大学と入替戦を戦いました。ダブルス1-1、シングルス2-3という女子も

悔しい結果となりました。現役はこの思いを後輩と分かち合い、来年度のリーグ戦へ向け練習に励んでおります。今年女子部創部50周年を迎えた年でもあり、その特集も報告させて頂きます。立教テニスの近況を知って頂く為にも隔々まで目を通して頂きますようお願い致します。またこの会報に広告掲載して頂き、作成費を支えて頂いているOB・OGの方々にお礼を申し上げます。

「僅差をどうするか」

テニス部長 伊沢 和平
今年もあと一歩で男女とも昇格を逃しました。この壁を破るには、基本的に各人にもうひとつ、強く集積に待つしかないのでしようが、この状況を見て、私の脳裏にはテニスの試合で接戦になったときメンタルをどう持ったかが浮かんできました。それは、「しぶとく攻める」です。「しぶとく攻める」ではありません、実力差が明らかにあるとき、自分が上るときは、何も工夫しなくても、次々と良い展開となって、どんどん自分の実力が発揮できます。逆に自分が下るときは、居直って何か仕掛けるしかないのです。メンタル的には吹っ切れます(ただ、明らかに相手の方が上というときは、実はそんなには無いのですが、それはともかくとして)。問題は接戦の時です。私の経験では「しぶとく攻める」が良かったです。

ただの「攻める」あるいは「とにかく攻める」は、自分が次にミスをしていかを恐れて、あるいは、相手に攻め切られてしまわないかを恐れて、の裏返しであったことが多かったように思います。これだと妙に力が入ってしまつてうまく行きません。私の分析では、「しぶとく攻める」により、肩の力が抜けながらも体(足)が動くようになりやすくなるからではないかと思っております。この点はまだわかりませんが、さて、来年の昇格に向けて、しぶとく攻めましょう。その時々いろいろ異なる場面でも焦らずこの気持ちを持ち続けることにより結果はついてくると思っております。最後にになりましたが、今年度の幹部の四年生の諸君、お役目ご苦労さまでした。来年度、男女同時昇格の決まる入れ替え戦は是非見に来て下さい。

第十三回総会 開かれる

去る六月二十一日(土)セントポールテニスクラブ第十二回総会が、多数のOB・OGの方々のご出席を頂き池袋キャンパスの第一食堂2Fのふじだにて開催されました。会計報告・予算・事業計画など慎重な審議が行なわれ、総会後は現役幹部を交え和やかな懇親会が開かれました。次項に総会の決定事項をご報告いたします。

「会長挨拶」

S42年卒 出口 誠之
OB、OGの皆様にかかれましては、益々健康で、ご活躍の事とお喜び申し上げます。本年六月のセントポールテニスクラブ総会に於いて、小西前会長の後を受けて、会長をお引き受けさせて頂くことになりました。新体制の下、大学テニス部強化に力を注いで行く所存です。来るテニス部創部百周年には、関東大学リーグにて、男女とも優勝を狙える体制が、出来るよう頑張つてまいります。新体制元年として、組織の組み直しを実施し、藤原理事長を中心に現役との連絡を密にし、そのサポートとして、現役強化本部を作りました。又、大学側との交渉窓口として、アスリート選

抜制度や、活性化プログラム計画による経済支援制度のとりまとめを行う、現役強化委員会を作りました。一昨年より進めております二〇一六年の百周年に向けての、百周年準備委員会の継続を進めて行きます。

理事会、各委員会の運営は、各副会長、顧問の方々に、これに参加して頂いております。各理事、各委員、監督、コーチのお力を借り、現役一同がより良い結果が出るよう、協力、援助をして行きます。本年のリーグ戦は、残念ながら男女とも残留という結果に成りました。(男子四部、女子三部)私自身でできるだけ応援に参加して来ましたが、どの試合も紙一重の実力で、よく「心・技・体」と言いますが、どれも欠けても結果に現われて、普段の練習がどれだけ大切かを見た思いです。現役諸君は、本年の経験を生かし、監督、コーチとも良く話し合い、来年のリーグ戦に向けて、確りとした計画を立て、練習を心掛けて下さい。最後になりましたが、OB、OGに於かれましては、年会費、百周年への募金、激励会等への寄付を、ご支援、ご協力頂きましたこと、心から感謝とお礼を申し上げます。新会長としてのご挨拶とさせていただきます。

「理事長就任に際しての思い」として
S60年卒 藤原 誠之
昭和60年卒の藤原です。本年6月の総会にて理事

長に選任されました。どうぞよろしくお願い致します。私は、卒業後はたまたにリーグ戦を応援に行くだけのオービーでした。54年卒の秋元先輩のお誘いで理事に就任したのが5年前でした。当時の理事会における原田理事長秋元さん、浅見さんらのオービー会への献身的な姿勢を拝見し、諸先輩がここまでやっているのかと驚いたことを覚えております。

特にここ数年は、現役への支援やスカウティングなど従来からの仕事に加えて、百周年の準備、アスリート選抜や支援金などの対応、大学関係者へのアプローチなど、原田前理事長の活躍は傍で見ても凄まじいもので、理事長の打診をいただいた時も、「とても無理です」というのが正直な気持ちでした。しかし、就任にあたって、現役強化本部、強化委員会を作っていた、指導およびスカウティングを担っていた、組織ができたこともあり、サラリーマンの自分でも何とか出来るかもしれないと思ひ、お受けした次第です。

いままでも受け継がれてきた流れをしっかりと引き継いで、より発展させられるようがんばりたいと思ひます。今後ともご指導ご鞭撻のほどをお願い致します。最後にになりましたが、私の同期、後輩のOB・OGの皆さん、現役の試合やOB・OG会の行事にどみんな参加してください。みんなで新しい流れを作っていきます。

CONTINUE

総監督 中島 幸彦

変革の夢と希望の明日を信じ、アメリカ史上初の黒人大統領オバマ氏に歴史の先導を託し、新しい世界へ歩み出しました。この風を後押しされたのか、自分自身はテニス部の監督として何を考え、何をなすべきかを改めて自問しました。

「必然」

男子監督 武市 広治

物事には過程があり、そしてそれにより結果が伴います。研究の結果、発明があり、営業の結果、約定があり、努力の結果、成果があります。そしてその結果を先に設定し、達成に向けての正しいアプローチを設定し、且つ継続することにより達成の確率が高まります。

「五十年目を振り返り」

女子監督 清 隆一郎

去る七月六日に行われました「女子硬式庭球部創部五十周年を祝う会」には百二十名を超えるご出席を頂き、誠にありがとうございました。

平成20年度役員

Table with columns: 氏名, 卒年, 役職. Lists board members and staff for Heisei 20.

平成 20年度事業計画書

Calendar-style table of activities for Heisei 20, including training sessions and tournaments.

平成 19年度事業報告書

Calendar-style table of activities for Heisei 19, including training sessions and tournaments.

平成20年度会計予算

(自平成20年4月1日～至平成21年3月31日)

Financial budget table for Heisei 20, showing income and expenditure details.

平成19年度決算報告書

(自平成19年4月1日～至平成20年3月31日)

Financial statement table for Heisei 19, showing income and expenditure details.

Balance sheet table for Heisei 19, showing assets and liabilities.

Balance sheet table for Heisei 20, showing assets and liabilities.

平成20年度リーグ戦結果

平成20年度関東大学テニスリーグ男子第四部結果表

	立教大学	横浜国立大学	学習院大学	成城大学	一橋大学	明海大学	勝点	順位
立教大学		4 - 5	5 - 4	7 - 2	7 - 2	7 - 2	4勝1敗	1位
横浜国立大学	4 - 5		7 - 2	6 - 3	5 - 4	7 - 2	4勝1敗	2位
学習院大学	5 - 4	2 - 7		6 - 3	6 - 3	4 - 5	3勝2敗	3位
成城大学	2 - 7	3 - 6	3 - 6		5 - 4	5 - 4	2勝3敗	4位
一橋大学	2 - 7	4 - 5	3 - 6	4 - 5		6 - 3	1勝4敗	5位
明海大学	2 - 7	2 - 7	4 - 5	4 - 5	3 - 6		1勝4敗	6位

入れ替え戦 立教大学 4 - 5 順天堂大学

平成20年度関東大学テニスリーグ女子第三部結果表

	山梨学院大学	立教大学	東京女子体育大学	学習院大学	関東学院大学	日本女子体育大学	勝点	順位
山梨学院大学		6 - 1	7 - 0	6 - 1	7 - 0	7 - 0	5勝0敗	1位
立教大学	1 - 6		5 - 2	6 - 1	5 - 2	6 - 1	4勝1敗	2位
東京女子体育大学	0 - 7	2 - 5		5 - 2	7 - 0	6 - 1	3勝2敗	3位
学習院大学	1 - 6	1 - 6	2 - 5		5 - 2	2 - 5	1勝4敗	4位
関東学院大学	0 - 7	2 - 5	0 - 7	2 - 5		5 - 2	1勝4敗	5位
日本女子体育大学	0 - 7	1 - 6	1 - 6	5 - 2	2 - 5		1勝4敗	6位

入れ替え戦 立教大学 3 - 4 東海大学



男子主将 田村 浩紀

前年度主将を務めさせていただきました。経済学部経済学科四年の田村浩紀です。

私はテニス部での四年間で多くのことを経験し、リーグ戦の結果としては悔しい思い出の方が強く残っています。そして一年一年は、辛く苦しい事も多くありました。しかし先輩、後輩との「絆」を感じることができました。そのたびに部員としてプレーヤーとして、幹部として成長を実感しました。また監督、OBの方にも多くの面から支えていただきました。家族や友人を含め感謝してもきれません。部で活動した私の四年間は誇りであり宝物です。

今年のリーグ戦は主将として戦いました。入れ替え戦までいきましたが、1ポイントを取ることができず昇格できなかった事に責任を感じています。

昇格できなかった悔しさはこれから微力ながら来年の昇格に向けて協力していくことで果たしたいと思えます。同時に社会にでも部で培った事を活かし更に成長し活躍していきたいと思えます。四年間ありがとうございました。



女子主将 塚田 晶子

昨年度主将を務めさせていただきました。経済学部経済学科四年の塚田晶子です。

主将として迎えた最後のリーグ戦では、昨年に引き続き昇格まであと一歩というところで惜しくも敗れてしまいました。入れ替え戦のスコアをみるたび「あと一ポイントで上がれたのに...」という気持ちになります。その一ポイントは近いようで遠い存在であると思っています。

その近いようで遠い昇格を果たすために、私は四年間何が足りなかったかを考えてみました。「一日一日を大切に」ということでした。四年間体育会テニス部に所属し、四年という期間は長いと思っていました。想像以上に短くあつたという間に過ぎてしまいました。そして入れ替え戦が終わって見ると、あつけないものでした。

学生最後のテニス人生の中で昇格という偉業を成し遂げることができなかった今、もつと一日一日を昇格のために努力することができたのではないかと悔しい気持ちでいっぱいです。もう選手としてリベンジすることはできませんが、四年間支えてくださった先輩方に感謝の気持ちをこめて、これからの二部昇格の力になれたらいいです。

最後になりましたが、私がかつての先輩方のおかげで、充実した四年間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



男子主務 柏原 啓大

早いもので、あつという間に一年が過ぎ去り、私の主務生活は幕を閉じました。自分ではかなり納得のいくものであったと思っております。

しかし、どうしても心残りなことが二つござります。一つは、アスリート選抜入試にて、思い通りの結果を出すことができなかったこと、もう一つは、もちろん昇格できなかったことです。

アスリート選抜入試においては本当に悔しい思いをいたしました。もちろん誰に落ち度があるというわけではありませんが、私たちテニス部を信じて受験して下さいました方々に対して申し訳ない気持ちでいっぱいです。

昇格できなかったことも本当に残念でなりません。この一年間主務としてさまざまな事に妥協せず取り組んできたのは、すべて昇格のためでした。主務としてのどの仕事もすべて昇格に通ずるものと考えて取り組んできました。それだけにあと一歩のところ昇格に手が届かなかった結果に對して、悔しさも一塩です。

納得できる主務生活を送れたというわりには、悔しさの滲み出る文章となつてしまいました。これもすべて現役部員、そしてOB・OGの皆様の支えのおかげであることに感謝を致しております。同時に、次の代以降の部員が同じ悔しさを決して味わうことがないように、できる限り協力をしていく所存です。四年間本当にありがとうございました。



女子主務 五味 瑛利子

引退してから約一ヶ月たった今も、入れ替え戦のことを思い出さず涙がこみ上げてきます。四年間の集大成となる試合で敗北し、最後の一本を勝ち取ったことが悔やみきれません。二年生の時味わった昇格の喜びを、再び味わって引退できた最高だと思っております。

ことならもう一度リーグ戦を戦いたい。きつと、この思いは一生消えることはないと思います。しかしこれほどまでに、昇格という一つの目標に向かって全力で打ち込むことができたことは、本当に幸せです。昇格できなかったことは心残りですが、テニスにかけた私の大学生活に悔いはありません。他の多くの女子大生とは異なった、汗と陽射しと富士見の土にまつても充実した日々でした。最後の一年は、主務の仕事、就活などに追われ、テニスだけに集中することができず、辛く感じる時もありました。しかし振り返ってみると、あの壮絶な日々が私を成長させてくれた気がします。

また、同じ志をもった仲間との出会いもかけがえないものでした。特に幹部になって、試行錯誤しながら作り上げたチームは、私の誇りです。いつもプレーで皆を引っ張ってくれた塚田と、頼もしい後輩達に本当に感謝しています。

これから社会に出て、テニス部での経験を糧に、そして常に体育会魂を忘れないで頑張りたいと思います。最後に、OB・OGの皆様が応援してくださるよう願います。今後とも、OB・OGの皆様が応援のほど宜しくお願い致します。



男子主将 原田 秀太

新幹部紹介

本年度主将をつとめさせていただきますことになりました。文学部文学科英米文学専修三年の原田秀太です。宜しくお願い致します。

私は立教大学のテニス部に入部し三回のリーグを経験しました。しかし結果は残留、降格、残留でした。全てのリーグで入れ替え戦に懸かりましたが最後に四年生を笑って送り出したことがありませぬ。毎回悔しい思いをさせてしまいましたが、私自身昇格する喜びをまだ味わったことがありません。来年はいよいよ私たちが主将という役割に就かせて頂き、責任感という不安もありますが、それ以上にやりがいを感じています。残された一年間、全力でこの部活に懸けていきたいと思っています。

私自身も、今年のリーグ戦を通して、単において全勝できたことを自信にし、いまだ単で学生に上ることができていないため、今年こそは個人で良い戦績をあげ、プレーの面でもチームを引っ張ってあげたいと思います。

私が一年生の頃にあげた「一部リーグで戦う」という目標はもう果たすことができませんが、なにがなんでも今年昇格し、先輩たちに託していきたく思います。今後とも、OB・OGの皆様のご支援、ご声援の程宜しくお願いいたします。



女子主将 渡邊 梓

本年度主将を務めさせていただくことになりました。経営学部国際経営学科三年、渡邊梓です。宜しくお願いいたします。

今年のリーグ戦も昨年と同様、四勝一敗三部二位で二位との入れ替え戦にかかるところまで来たものの、惜しくも三部残留という結果に終わり、大変悔しい思いで一杯です。

しかし、今年のリーグ戦を通して一番感じたのは、部の全体の戦力が格段に上がっているということです。試合を重ねるごとにレベルアップする選手、応援の中で何かを吸収していくサポート。部員一人一人がこのリーグ戦を終え、一回りも二回りも成長しました。そんな中で主将という役割に就かせて頂き、責任感という不安もありますが、それ以上にやりがいを感じています。残された一年間、全力でこの部活に懸けていきたいと思っています。

私自身も、今年のリーグ戦を通して、単において全勝できたことを自信にし、いまだ単で学生に上ることができていないため、今年こそは個人で良い戦績をあげ、プレーの面でもチームを引っ張ってあげたいと思います。

私が一年生の頃にあげた「一部リーグで戦う」という目標はもう果たすことができませんが、なにがなんでも今年昇格し、先輩たちに託していきたく思います。今後とも、OB・OGの皆様のご支援、ご声援の程宜しくお願いいたします。



男子主務
阿部 徹

本年度主務を務めさせていただくことになりました。文学部史学科三年の阿部徹です。
私は入部当初から将来の主務候補と言われ、先輩の主務としての仕事を学んで来たため、主務という大役を任せられる心構えはできていたつもりでした。しかし実際に交代が近づくと、本心に自分には主務という仕事が務まるのかという不安に襲われる日々が続きました。そんな中、新幹部の話し合いで、「昇格のため部活に甘えをなくし、変えていく」という方針を決めました。そのように決心したからには、これまでのように不安を感じているようではいけないので、最高学年として幹部として自分が部を引っ張っていかねばいけないのだということを感じました。
一年生からこれまでのリーグでは一度も良い結果を残せず、チームに貢献することもできませんでした。今年度は、最高学年になった今年、部を変えたいという点、また私にとって最後のリーグであるという点で勝負の年であると考えております。今年一年、私は練習も仕事もこれまで以上に常に全力で臨むことを心に誓い、ご指導、ご支援をいただいているOB・OGの方々の期待に応え、昇格を果たせるようにしていきます。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



女子主務
北沢 佳奈

本年度、主務を務めさせていただくことになりました。現代心理学部心理学科三年、北沢佳奈です。宜しくお願ひいたします。
この文章を書いている今現在、入れ替え戦が終わり、交代を終えて半月も経っていませんが、部活動とは皆さんのご支援と多くの努力の上で成り立っているものなのだと思っております。それらすべてがリーグ戦で昇格するという目標のひとつの目標のためであると思うと、二年連続で二部との入替戦にかかっていながらも残留してしまったことが悔しくてなりません。それでも着実に二部への距離は近くなっていると感じています。来年こそはあんな感じのスコアから感じるのではなく、来年こそはあんなポイントという僅差ではなく、圧勝して二部以上にしたいと思っております。
幹部としての責任に不安や戸惑いも感じますが、信頼できるメンバーと一緒に一杯頑張っていきたいと思います。そして、もう次のリーグまであと一年を切っていることを胸に一日一日を大切にしていきたいです。
私自身も主務としての仕事は忙しさを、選手としても、忙しさに負けず、常に全力で物事に取り組む、明るく元氣良く、チーム全体で切磋琢磨して高めあっています。今後は、ご指導、ご声援の程宜しくお願ひいたします。



男子副将
曾根 伸也

本年度副将を務めさせていただくことになりました。文学部史学科三年の曾根伸也です。よろしくお願ひ致します。
今年のリーグ戦では四部残留という残念な結果に終わってしまいました。リーグ戦を終えた今でも悔しい気持ちで一杯です。また、同時に一番長く立教大学でお世話になった四年生方を笑顔で送り出すことができて、自分自身何かとできることとはなかったかと、後悔の気持ちがあります。
しかし、この経験を生かして必ず来年のリーグで昇格するという気持ちが一層強まり、今から三部昇格という目標を持って、日々部活に精進してまいります。
また、プレーヤーとしても、個人としてはリーグに出場し最後の一年、後悔をしないように、厳しい練習をしていこうと考えています。
そして、副将という役割を任されたからには、しっかりと主務、主務の補佐をやつていくと同時に、生活面でも下の部員にいいお手本になるように日々部活に取り組んでいこうと考えております。
最後に、OB・OGの方々が応援に来てくださり、ありがとうございました。来年こそは三部昇格を必ずや成し遂げるために、部員一同、心を新たに強い思いで日々の練習に精進していきたく思います。
今後ともOB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。



女子副将
大森 有美子

今年度、副将兼会計を務めさせていただくことになりました。現代心理学部心理学科三年、大森有美子です。よろしくお願ひ致します。
現在の気持ちは、悔しいという言葉では言い表すことができません。今年のリーグ戦を振り返ると、立教の名に恥じることのない試合ができたかと自信をもって出来たと言えぬ試合が多かったです。OB・OGの皆様を多くの方々に良い試合だったと褒められる言葉をかけていただき、ありがとうございました。しかし、やがてあの日が絶対に来る。あの時勝つていければと今でも入れ替え戦の日を夢見ています。来年のリーグ戦に向けては、私自身も責任ある立場を自覚し、近いうちに後輩の意見も聞いていきたいと思っております。来年のリーグ戦は、先輩の意見も聞いていきたいと思っております。来年のリーグ戦は、先輩の意見も聞いていきたいと思っております。
一年生、去年の立場で来年は選手として出場するの宣言し、それを達成した頼もしい二年生、そして心強い同期がいます。私は必ず良いチームになります。来年こそは二年越しの二部昇格を成し遂げ、全ての方々と嬉し涙を流したいです。そのために一年間、立教の名を背負い、プレーする責任を持ち、常に昇格を意識しながら精進してまいります。
最後に、OB・OGの皆様にはいつもご支援いただき感謝しております。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。



女子副将
滝口 菜々子

今年度副将を務めさせていただくことになりました。理学部生命科学部三年滝口菜々子です。宜しくお願ひいたします。
今年のリーグ戦では3年間ずっと一緒に戦ってきた先輩に昇格して引退してほしいこと、また最後の一年を2部として戦っていきたくという思いがとて強く、いい緊張感の中はじめることができました。OB・OGの方々のたくさんのご声援、部員一人一人の信頼関係があったからこそここまで勝つことができました。入れ替え戦の結果は4-5であと一歩でしたが、その一歩がまだ遠いことに気付かされました。最後に4年生が流した涙には、計り知れない先輩の悔しさが詰まっているように思います。私達がこの思いを引き継いで来年こそは絶対に昇格しなければならぬと思っております。残留したことで悔しいと思っただけでなく、課題も見つけることができず、前向きに考え、来年のリーグに向けてこれまで以上に日々努力をしてチームで支えあい、切磋琢磨していきたいと思っております。
最後に、OB・OGの方々に初戦から入れ替え戦まで本当にたくさんの方々に応援をいただいていたことが心から感謝いたします。今年度は3度目の正直で絶対に昇格します。今後ともご指導、ご声援の程宜しくお願ひいたします。



1年
浅野 史義

新入生紹介

神奈川県私立神奈川大学附属高等学校出身、経営学部経営学科一年の浅野史義です。
私の中学は中学三年からしか硬式テニス部に入らなかったためそれからテニスを始めました。そしてテニスが好きになり高校に入ってからからはテニスが私の生活の大部分を占めていくようになりました。しかし高校では思うような成績が残せませんでした。そこで大学に入ったら自己満足で終わらせないでテニスでしっかり結果を残したいと思いいテニス部に入りました。
テニス部に入ると同期や先輩方と私の技術力の差が大きいことに愕然としました。しかし同時にこのようなレベルの高い環境で練習すれば必ず上達できるというのを感じ、同時に嬉しさも覚えました。そして今では着実に実力が伸びていることが実感できます。
来年こそは絶対に三部昇格したいので今年の昇格できなかった悔しさを忘れずに少しでもチームに貢献できるように頑張っていきます。
私たちがこのような素晴らしい環境でテニスができるのはOB・OGの方々のおかげです。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。



1年
佐久間 彰

千葉県私立東京学館浦安高等学校出身、経営学部経営学科一年佐久間彰です。
私は、高校入学当時はまるで初心者のようなテニスだったのですが、毎日ある練習や自主練習を繰り返して行くことにより、高校3年のときに団体の全国選抜でベスト4に入ることが出来ました。私は最高学年になったときに副部長という部をまとめる立場になりました。毎日遅くまで練習をしてきた仲間たちとのコミュニケーションがどうなるかを考えるのが、悩みなどはないのか、悩みなどは無いのかなどチームがよい状態を保てるように日々考えて行動してきました。そうして途中で高校3年生のときに初めて団体戦でメンバーに選ばれました。団体戦は高校生活中ではその一回きりだったので、私には団体で勝つという喜びの深さを知ることができなりました。共に勝利を味わったあの瞬間が私は人生で一番の思い出です。
今年のリーグでは最後の入れ替え戦でも悔しい思いをしました。私はシングルスとダブルスの両方に出場しましたが、まだチームをひっぱっていきたく思います。
私たちがこのように頑張ってきたのは、OB・OGの方々のご支援のおかげです。今後とも宜しくお願ひいたします。



1年
田村 賢人

福岡県私立柳川高等学校出身、観光学部交流文化学科一年の田村賢人です。
私は、小学三年の時に友人に誘われテニスを始めました。当時、様々なスポーツを経験していましたが小学六年時にテニス一本を本気で続けていこうと決意しました。本心にテニスが好きだったので、技術も精神も強くなりたいたいと思い、親元を離れ名門である柳川高校に進学しました。想像以上の厳しい練習や上下関係を耐え、全国選抜ではレギュラーとして出場させていただき、団体優勝まで経験する事ができました。
大学では、個人で勝つのはもちろんチームで勝つ事に意味があると思っております。まだまだ一年生ですが立教大学体育会テニス部を盛り上げていきます。今年のリーグは、四部残留と悔しい結果でしたが、1年からリーグを体験できた事を強みに、一年間意識高く練習をしていきます。
私たちが、こうして部活動を行っているのはOB・OGのご支援のおかげです。今後とも宜しくお願ひいたします。

1年 都筑 翔登



埼玉県私立立教新座高校出身、観光学部観光学科一年の都筑翔登です。私は中学受験により立教という学校に入り、中学高校の六年間テニス部に所属してまいりました。全国でも最大規模の人数を誇る立教新座のテニス部で六年間試合に出る事ができたことが私の誇りでもあります。その影響で、これからは立教の名を背負ってテニスに打ち込みたいと思っただけに、この度は体育会テニス部に所属させていただくことになりました。よろしくお願ひ致します。

さて今年度のリーグも終わり惜しくも残留という結果に終わってしまっただけですが、私はリーグ直前に腰を痛めてしまったため、リーグ前半は試合は愚かサポートに入ることにすらすらできませんでした。そのことが何よりも心残りになってしまったので、これからは第一に怪我をしないことを考えていきたいと思ひます。そして部の昇格に少しでも貢献できるように精進してまいります。

最後になりましたが、OB・OGの皆様の日頃のご支援にはとても感謝しております。今後とも変わらぬご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

1年 箭柏 喬彦



経営学部国際経営学科一年の箭柏喬彦(やがしわたかひこ)です。漢字が難しいので名前はいつも読まれません。出身校は立教新座高校で、座右の銘は「昇格」です。僕は中学生入学と同時にテニスを始め、中学、高校とずっとテニスをやっています。しかし、新しい事に挑戦してみたいという思いから、大学入学当初、僕は他のスポーツをやるとの予定でしたが、高校最後の試合で不完全燃焼のまま終わってしまったので大学でテニスをする決意をしました。

なぜ僕がサークルではなく部活に入ったかという点、高校生の頃大学の練習に混ぜてもらった事があるので、そこで初めて大学生のテニスというものを知り、さらにその大学生の方々のテニスに対する熱心な態度に感激し、大学になったから何でも部活にはいるという確固たる決意を高校生の時に持つことができたからです。

リーグでは、僕は補欠でした。リーグでメンバーとして出て、勝ち星を取るために練習してきたので、試合に出ないまま残留が決まってしまった時は悔しくて涙を止めることができませんでした。だからこそ来年のリーグでは絶対選手として出て昇格に貢献することを肝に銘じ日々精進していきたいと思ひます。しかし、それOB・OGの方々のご支援がないと為すまいことだと感じています。今後ともご支援、ご指導の程お願ひ致します。

1年 山崎 紬史郎



香川県立丸亀高校出身、コミュニケーション福祉学部スポーツウエルネス学科一年の山崎紬史郎です。私は小学三年の時にテニスを始めました。中学では硬式テニス部が無かったため、友人を集め自ら校長先生に嘆願し、硬式テニス同好会を設立して日々練習に励みました。高校でもテニス部に所属し、学業中心で練習時間が少ない中、仲間と効率の良い練習法を考えながら活動し、団体戦で満足いく結果を残すことができました。しかし個人では全国大会に一度も出場できず、悔しい思いをしました。そのため大学では自らの可能性を信じてレベルの高い関東で力を磨くことを決意し、立教大学体育会テニス部への入部を決意しました。

そうして覚悟を決め入った道であるにも拘わらず、今年のリーグ戦ではほとんど勝つことができません。そればかりか両足痙攣を起こして敗北し、悔しさの後悔だけを残す形となりました。日頃からご支援いただき、応援にまで駆けつけて下さったOB・OGの方々には、ご恩を結果としてお返しすることができず申し訳なく思っております。来年こそは必ずや昇格を果たすため、一年間全力でテニスに打ち込みますので、今後ともご支援、ご指導の程よろしくお願ひ致します。

1年 吉井 佑



国立東京学芸大学附属高等学校大泉校舎出身、経済学部経済政策学科一年の吉井佑です。私は、中学時代にアメリカでテニスを始め、高校でもテニス部に所属していました。しかし、高校時代はテニスができる環境ではなく、人数も少ない、経済的にも苦しい新しいボールなどめつたに使用することができませんでした。高校でテニスに打ち込むことができませんでした。テニスに打ち込んでいきたいという気持ちが強くなり入部を決心しました。

入部当初は練習が厳しく、一年としての仕事、体力的にもつらい日々が続きました。新しい環境に慣れられるか不安になりました。途中でやめることも考えましたが、先輩や同期の励ましがあつたため、今年度の部活を続けることができました。また、リーグを経験したことでサポートの重要性を知り、レギュラーを応援しかできない悔しさを糧にして部活に励んで行きたいと考えています。

個人的な目標としては単復関東学生以上になれるように努力していきたいです。また、勉強でも妥協せずに全力で取り組んでいきます。立教大学のような素晴らしい環境でテニスができるのはOB・OGの方々のご支援のおかげです。これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

1年 酒井 香澄



観光学部観光学科一年の酒井香澄です。私が入部した理由は、まず他のどんなスポーツよりもテニスが一番好きなスポーツであること、そして体育会という環境の中で立教大学を背負ってテニスをやる部員の姿が輝きに充ちていたことです。その彼らのために自分には何が出来るのか、そう考えたときにサポートをしようと思った。初めのリーグを経て、惜しくも残留という結果になってしまいました。しかし、リーグの厳しさと改めて団結力の大切さを学べた気がしました。この悔しさを忘れずに、来年は昇格したいです。また、リーグは宿敵など自分自身もかまが初めてなことばかりで戸惑いやぎこちなさが出てしまいましたが、一年目のこの反省を二年目に生かせるようにしたいです。頑張っている部員のために、私も自分が出来る限りのことをして、リーグへの思いを胸にマネージャーとして精一杯サポートできるように頑張っていくつもりです。最後にOB・OGの皆様、日頃から応援していただき本当にありがとうございます。リーグの際には、忙しい合間をぬって会場まで足を運んでくださり感謝の気持ちでいっぱいです。プレーヤーにとって、皆様の応援が一番の力の源です。これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

1年 下山 菜摘



マネージャーを務めさせていたでいておられます。観光学部交流文化学科一年の下山菜摘です。私は、大学に入ってから何か自分の身につくような特別なことをやってみたくて思っていました。しかし、大学に入学し、さまざまなサークルを見学しましたが、あまり自分にあつたものが見つからず何にも所属しないまま過ごしていました。そんな最中、友人からテニス部があり、友人からテニス部があり、自分自身もテニス経験があり、とても興味を湧いたためテニス部のマネージャーとして入部することをきめました。

しかし今までマネージャーの経験がなく、はじめはどうしたらいいのかかわからずとても緊張していましたが、先輩や同期の仲間たちが部内でのルールや具体的な仕事をわかりやすく優しく教えてくれたため、うまく仕事ができるようになりました。今年のリーグの結果は残念ながら結果となってしまいました。昇格にむけて、日々一生懸命練習に取り組み姿をずっと見ていたので、入れ替え戦後の選手たちの姿を見たときは私も目頭があつく悔しい気持ちでいっぱいになりました。この悔しさを忘れずにもちつづけ、来年は絶対に三部に昇格できるように全力で選手たちをサポートし、日々の練習を共に頑張っていきたいと思ひます。OB・OGの皆様方、今後ともあたたかいご支援、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

1年 浅野 亜由美



コミュニケーション福祉学部スポーツウエルネス学科一年、浅野亜由美です。私は両親がテニスをやっていたことがきっかけでテニスを始め、中学、高校とテニス部に所属して来ました。中高では幸い仲間にも恵まれ、団体戦では全国大会やインターハイを経験することができました。これらの経験が大学でもテニスを続けようと思つたきっかけです。やるからにはしっかりとテニスに取り組みたいと思ひ、迷いなく立教大学体育会テニス部に入部を決めました。

私は、リーグ戦では一試合だけでしたが試合に出る機会を与えていただきました。一勝をあげることができず、とても悔しい思いをしました。また、リーグ戦を経験し、改めてポイントの大切さ、一勝することの大切さを実感しました。毎回、多くのOB・OGの皆様が遠方から応援に来て下さったことに、大変感謝しております。

リーグ戦も終わった今、私はテニス部に入部して本当に良かったと思ひます。良い同期、先輩方に恵まれ、多くのことを学ぶことができました。また、このような素晴らしい環境でテニスをすることができているのも偏にOB・OGの皆様のご支援があるからです。このことを心に留め、チーム一丸となって、二部昇格のために日々努力をしていきますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

1年 小田 彩織



私立広陵高等学校出身、現代心理学部心理学科一年小田彩織です。私は小学校一年の時からテニスを始め、毎日テニススクールに通い本格的にやってきました。そして中学一年では、個人戦シングルで全国優勝することができました。そして二年の時には日本代表としてヨーロッパ遠征にも行くことができました。とても貴重な体験をすることができました。しかし、高校に入学後すぐに怪我をしてしまい、一年間のブランクがありました。その時たくさんの方に支えられていることに気がつきました。復帰後、全国大会には出場はするもの思ふような結果を残すことができませんでした。その悔しさを胸に立教大学に入学し、体育会を盛り上げるため、テニス部に貢献することを決意しました。入部してからは、二部昇格のことだけを目標に日々練習に励んで参りました。初めてのリーグ戦では、ポイントの大切さ、そして一勝の大切さを肌で感じました。入替戦では惜しくも負けてしまい、三部残留となり本当に悔しいです。来年こそは二部昇格します。これから大学生活は、選手として、人間形成として、人生の中でとても大事な時期だと思ひます。OB・OGの皆様方の暖かい応援、励ましに感謝し、色々なことを学び、頑張っていくたいと思ひます。



1年 国嶋ひとみ

コミュニティ福祉学部
福祉学科一年国嶋ひとみ
です。よろしくお願
いします。

私は母の影響で小学生
のときに触り程度にテニ
スをしたことがあるだけ
でした。中学・高校では
学校にテニス部がなかつ
たため、六年間バスケット
ボール部に所属して足
腰を鍛えました。
立教大学に入学し、初
心者ながらも体育会テニ
ス部に入って良いものか
ととても悩みました。し
かし、どうしてもテニス
をやりたい一心で、体育
会テニス部への入部を決
意いたしました。
入部して、先輩方や同
期のテニスに対する真剣
さ、プレールのレベルの高
さに圧倒されましたが、
皆の支えのもとに、テニ
スに対し常に意識を高く
持って練習にのぞんでい
ます。
初めて経験したリーグ
では、サポート側として
しか貢献できませんでし
たが、先輩方の試合を見
て、緊張感のなかで一ポ
イントの大切さと厳しさ
を感じました。そして、
三部残留という悔しさを
味わい、来年こそは必ず
二部に昇格したいと強く
思いました。
最後になりましたがこ
のような素晴らしい環境
で、思いっきりテニスが
出来るのはOB・OGの方
々のご指導とご支援の
おかげであり、とても感
謝しています。これから
も精一杯頑張っていくま
すので、どうぞよろしく
お願いいたします。



1年 高津香和奈

経済学部会計ファイナ
ンス学科一年、高津香和
奈です。

私は幼児期にテニスの
試合を見た際、私の目に
はとてもしそうに写り
ラケットを握ったことが
きっかけでテニスを始め
ました。中学、高校では
テニス部に所属し5年間
を過ごしました。5年間
は学校生活を楽しくむため
のテニスでした。いつも
環境を言い訳にして自分
から逃げていました。そ
んな自分を変えたい、も
と本格的にテニスをした
いという思いと、やる気
さえあれば大歓迎だとい
う先輩の温かい言葉も
あり、入部を決意しまし
た。
入部した当初は、今ま
での大きな違い、自分
の体力不足や一年生の仕
事など心配つづきの毎日
でした。しかし不安で気
持ちは揺らいだ時期も、
先輩や多くの方々そして
同期に温かい声をかけて
いただき、ここまで部活
を続けてくることができ
ました。今回初めての合
宿やリーグ戦を通して、
私はサポートする立場で
したが一人一人の勝ちに
拘る事、一ポイントの大
切さを実感しました。ま
た来年は私もレギュラー
としてチームに貢献でき
るように、日々目標を持
ち試行錯誤を重ね練習に
励んでいきたいです。ま
た、私たちがこのように
充実し、素晴らしい環境
でテニスができるのは皆
様のご支援のおかげであ
ることを忘れず練習に励
んでいきますので、これ
からもご指導のほど宜し
くお願い致します。



1年 手塚 絢

私立立教女学院高等学
校出身、経営学部国際経
営学科一年の手塚絢です。

私は中学校からテニス
を始め、中学・高校と六
年間テニス部に所属して
いました。テニスは大好
きでしたが、もともと部
活動にあまり力を入れて
いない学校だったので、
満足にテニスをすること
ができずに物足りなさを
感じていました。
高校生の時に何回か大
学の練習に参加させてい
ただいたり、学院合同練
習会に参加したりして、
大学の部活動の雰囲気
を知り、大学に入ったらそ
のような環境の下で、思
いっきりテニスがしたい
と思っていたので、大学
に入部してすぐにテニス
部に入部しました。入部
した当初は、想像以上に
厳しく大変な部活動に少
し戸惑いましたが、リー
グ戦を終えた今は、体育
会テニス部に入部して本
当に良かったと実感して
います。体育会でしか絶
対得られないことをこの
約半年の間だけでも、経
験することができたと思っ
ています。
これもOB・OGの方
々のご支援があるからであ
り、とても感謝していま
す。今年もリーグ戦で昇
格できませんでしたが、
この悔しさをバネに、日々
の練習に打ち込み、一年
後には絶対に昇格できる
ように頑張ります。今後
ともご指導ご鞭撻の程、
よろしく申し上げます。

小中高大合同練習会

晴天に恵まれた十一月
二十三日(日)、恒例の
立教小、立教池袋、立教
新座、立教女学院、そし
て大学までのテニス部合
同練習会が立教池袋テニ
スコートを10面使用して
開催されました。この会
は、30年近くの伝統があ
り今年も小野先輩、出口
会長、浅見副会長、中島
総監督、鷲田元監督、原
田前理事長、藤原理事長、
武市監督ら多数のOBの
参加もいただき、100名超
の盛大な練習会となりま
した。
この練習会によって個々
の技術向上をはかること
はいうまでもありません
が、OB・大学生との触
れ合いを通して人間形成
の貴重な場としての役割
をこの会が果たすことも
また期待されています。



OB・OGの声

「リーグ戦観戦記」

S 55年卒 大塚 直人

今年もリーグ戦が始ま
りそして終わった。二週間
の戦いの中に一年間の練
習の成果を集めた試合
を観に行く事が出来たの
で気が付いた点を寸評し
ます。今年も男女共上部
校との入替戦に進出する
事ができ男子は九月十一
日千葉県酒々井の順天堂
大学との三部復帰をかけ
た勝負に挑みました。結
果は四対五の敗北でした
が私の心に残ったのは、
ダブルス二対二、シング
ルス二対二の後を受けて
コートに入ったシングル
スNO2の四年生の林君
の冷静なプレーぶりです
の。先に隣りのNO1の
試合が負け観客の応援を
すべて受ける形の中淡々
とプレーし続け学生生活
最後の試合を笑顔一つ見
せず勝利した場面には頭
が下がる思いでした。男
子は結局四対五で敗北し
翌日の女子の入替戦に神
奈川県の東海大学迄気分
転換して再び応援に行き
ました。こちらも結果は
三対四の惜敗でした。ダ
ブルス一対一、シング
ルス二対二を受けて入った
シングルスNO一三三の
中から一勝出来れば悲願
の二部復帰という所まで
追いつめながら敗北しま
した。その後の集合の中
で見ました中島総監督の
涙、これこそが立教テニ
ス部OB、OGを代表す
る悔し涙だと思えます。
来年こそ再び上部校との
入替戦をめざし本場のう
れし涙を流したいと思
います。選手諸君頑張れ。

「テニスのプリンセス」

S 55年卒 黒坂美也子

今年卒業後何十年か
振りに女子部リーグ戦の
応援に行きました。チェ
リーピンクのストライプ
のお揃いのシャツを着た
お嬢さんたちは、その可
愛らしい容姿からは想像
できないようなスピード
感のあるハイレベルなテ
ニスをを見せてくれました。
力強いストロークや思い
切りの良いネットプレー、
鋭いショット。感心しな
がら見ていました。時
代は変わってもテニス部
の心は同じ。いつの間
に現役の時のように大き
な声で応援していました。
順調に勝ちを重ね、最
終戦を終えて四勝一敗と
いう素晴らしい成績で三
部二位になりましたが、
中には苦しい試合もた
くさんありました。本当に
よく勝った、よく頑張っ
たと思えます。先攻され
ても挽回する粘り強さ、
巻き返されても強気で取
り返す集中力、自分のプ
レースタイルを貫く精神
力、そして試合に出場し
た部員とそれを支えた部
員、十二人全員のチーム
ワークが、二部との入替
戦へ進む力になったので
はないでしょうか。入替
戦は3-4の惜敗で、残
念ながら昇格は逃しまし
たが、二部との力の差を
感じたと同時に、二部が
手の届くところにあるこ
とも実感したと思えます。
彼女たちが流した涙と今
年得たものは、必ず来年
につながると思っていま
す。
がんばれ、立教テニス
のプリンセスたち!
女子部の活動を支えて
くださる保護者の方々、
先生方、監督・コーチ、
OB・OG、現役男子部
の方々、たくさんの皆様
に心から感謝いたします。

中学・高校通信

立教池袋高校

顧問 吉田 清典

●顧問より
全中・関東大会の常連
校であった我が校だが、
近年低迷が続いている状
況を顧みると、誠に残念
に思う。部内の猛省を促
し、練習に励んでいきたく
い。大学体育会のレギュ
ラー練習会への協力には
感謝を申し上げます。

立教新座高校

顧問 平山 晋

立教新座高校テニス部
は百人を超える部員数を
抱えている。男子のみの
部としてはおそらく日本
一である。
多くの部員を抱え、中
学テニス部や中高ソフト
テニス部ともコートを共
有せざるを得ない現状で、
決して恵まれた練習環境
とはいえないが、「団体
戦での全国大会出場」を
最大の目標に、本校OB
でもある小井土滋章氏の
指導の下、日夜練習に励
んでいる。
日々の活動は、時間及
びコート面数の制約があ
り、他高と比較しても恵
まれた練習環境とはいえ
ないが、「集中力」・
「効率」そして「目標設
定」を個々の課題として
取り組んでいる。特にこ
こ数年は部全体のレベル
アップを目標に、上位選
手の練習試合に加え、初
心者にも練習試合や各種
試合参加の機会を多く設
けている。その効果もあ
り、県大会にはシング
ルスで一〇数名の選手が出
場を果たしている。その
一方で県でも上位に勝ち
残る核となる選手がいな
いのが実状である。全体
的に上手くなっているが、
それを如何に強さに繋げ、
団体戦で勝っていくかが、
大きな課題である。

立教池袋中学

顧問 重原 康秀

- 大会結果
- ▽都ブロック大会
- S 準優勝 鈴木健生
- 三位 木村恒太
- D 準優勝 鈴木・御代
- 三位 木村・奥村
- ▽都団体戦
- 四回戦進出
- ▽都ブロック大会新人戦
- D 準優勝 鈴木・御世
- 三位 吉田・中澤
- ▽都新人団体戦
- ベスト一六



立教大学女子硬式庭球部創部50周年を祝う会

ハイアットリージェンシー東京 2008年7月6日



50周年特製ケーキとケーキカット

「感謝」

S36年卒 野田 昌子
S36年卒 八木下 紗繪子

去る7月6日女子硬式庭球部創部50周年を祝う会を無事終えほっとしております。開催に当たって若い世代の方々の時代に合ったシャープな考えと行動力、老いた世代との信頼感がみごとなハーモニーで、ささやかではございましたが、ご出席の皆様には楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

これもひとえに皆様方のテニスに対する愛着心とご理解、ご支援、ご協力の賜物と、感謝してもしきれない思いでございます。いつの時代でもテニスを通し苦楽を共にした者同士の楽しい語らい、そして誇らしげな笑顔を拝見し50年間皆んなで頑張ってきたよかったですとテニス冥利につきる一日でした。あらためて皆様とのスポーツ精神ではぐくんできた強い絆を大切に、この感動を忘れず、又一から現役の育成、セントポールテニススクラブの発展に協力し8年後の100周年を祝う会が、より盛大に行われます様、女子部一同、努力する決意でございます。



歴代部長とともに 前列左から栗原元部長、淡路前部長、伊沢部長、白石体育会長



部旗贈呈と花束贈呈



歴代監督の皆様



宴席のOB・OGの皆様



女子部現役部員と男子主将、主務



平成20年度年会費ありがとうございました。

平成20年11月10日現在

卒年 OB 氏名 (敬称略)

卒年 OB 氏名 (敬称略)

卒年 OG 氏名 (敬称略)

35年以前のOBの方々は、会費は免除になっておりますが、たくさんの方より、寄付金としてお預かりいたしました。

Table listing 35 former members (OB) with their graduation years and names.

Table listing 36 current members (OB) with their graduation years and names.

Table listing 37 former members (OG) with their graduation years and names.

創部100周年記念事業募金にご協力頂き有り難うございました。

平成20年11月現在

卒年 OB 氏名 (敬省略)

卒年 OB 氏名 (敬省略)

卒年 OG 氏名 (敬省略)

Table listing 38 former members (OB) who contributed to the fund.

Table listing 39 current members (OB) who contributed to the fund.

Table listing 40 former members (OG) who contributed to the fund.

平成20年11月までの募金額は 4,709,658円 となりました。

8年後の2016年に創部100周年を迎えます。募金目標額は1,000万円です。今後とも募金事業にご協力下さい。

100周年記念事業募金の口座案内

みずほ銀行 池袋西口支店 普通口座 1102894 立教テニス部100周年

訃報: 植垣正夫先輩 (昭和十六年十二月卒), 昇文彦先輩 (昭和四十二年卒), 北原静彦先輩 (昭和六年卒), 福島淳介先輩 (昭和三十六年卒), 遊佐久美先輩 (昭和四十四年卒).

Table listing current members (OG) with their graduation years, departments, and names.

Table listing former members (OG) with their graduation years, departments, and names.